

BW251 シリーズ オートフォーカス溶接ヘッド

定格パワー 8KW

概要

BW251 シリーズは、2018 年にスイスの RayTools AG 社から発売された 8 KW の高出力レーザー溶接加工ヘッドです。高出力溶接の高出力溶接の特徴によれば、自動溶接ヘッド構成は、機器制御システムやロボット制御装置と接続することで、異なるデフォーカス量を実現することができる BW250 に基づいて開発されています。

特長

- ハイオートメーション:デフォーカスの量を自動的に制御することによって、自動化された溶接条件を達成することができる
- インテリジェントセンシング:コリメートレンズと集光レンズの動作温度のリアルタイムモニタリング、保護ミラーの挿入または取り外し
- 豊富な拡張モジュール:拡張可能な溶接トラッキングまたは位置検出機能および他のモジュールで、自動溶接を容易に達成可能
- 優れた溶接効果:高速で高品質の高出力レーザー溶接を実現する最適な光学設計
- 効率的な冷却:コリメートレンズと集光レンズは水冷式。長期間安定動作、寿命を延ばすことが可能
- 高品質の気流:滑らかで効率的な流体構造設計を使用して、最良の溶融プール保護効果が得られる



仕様

定格パワー	ファイバーレーザー ≤ 8 KW	— 精度	≤ 50 μm
ファイバーインターフェイス	QBH	CCD	TYPE-C □ TYPE-CS
開口径	48 mm	カバーガラス	
コリメーター焦点距離	100 mm	— コリメーターレンズ側	φ 50 × 2 mm
集光レンズ焦点距離	100mm, 200mm, 250mm	— 集光レンズ側	φ 50 × 2 mm
オートフォーカス		アシストガス圧力 (推奨)	
— レンジ	+20 ~ 25 mm (FL200)	— エアナイフ	≤ 6 bar
— 加速度	≤ 10 m/s ²	— プロテクトエア	10 ~ 25 ℓ/分
— 速度	≤ 15 m/分	重量	~ 7.5 kg

図面

(準備中)